

食物科 特別授業

「環境にやさしいプラスチック製品の普及について」



食物科3年生が、プラスチック資源の循環の促進と脱炭素社会の実現に向け、植物由来のバイオマスプラスチック等を原料とした環境配慮型プラスチック容器について学びました。

【講師・協賛】 リスパック株式会社 バイオ営業部 営業課長 田口 雅也 氏
岐阜プラスチック工業株式会社 サステイナブル戦略室 森山 直香 氏
岐阜県 廃棄物対策課 資源環境推進係

特別授業の様子



バイオマスプラスチックの弁当箱を活用した実習



バイオマスプラスチック容器や循環型社会を目指した生活について3年生から1,2年生へ取組の循環

<生徒の感想>

- ・生活に不可欠なプラスチックだが、私たちの意識の低さで環境破壊を進めてしまう。一人ひとりが意識を変えて、プラスチック容器の適切な使用や講義で学んだバイオマスプラスチック容器の活用を取り入れていきたい。
- ・プラスチックリサイクルのうち、54%はサーマルリサイクルと知り、結果として焼却による環境破壊を進めることになってしまうことに驚いた。生分解性プラスチックの活用など、新たな視点でプラスチック活用と環境保護を考えていきたい。
- ・レストラン実習での取り組みを通して、後輩や先生方にバイオマスプラスチックや循環型社会について考えを広めていきたい。